

## 確実な証拠！このフェイク人種暴動は、ミームやモットー に至るまで計画されていた

### 【Gretchain】

あの暴動の犠牲者として喧伝されたジョージ・フロイドが、9日前に死んでいたことを示す、オバマ・チームによる奇怪な写真が露見した。驚くべきことだが、こんなことは彼らにとって、多分、騒ぐほどのことではないだろう。理屈を言う奴は殴ればよい。彼らは暴力を使って、破れかぶれにフェイク「人種戦争」を起こしている。ここに説明されている、オバマとソロスの関係が、おそらく典型的で最も正しい、今のアメリカの暴動の構造であろう。こういう者たちが、悪の力を借りて、いつか何かをやり遂げるということは、誰も考えないだろう。(現在、ロゴがやっと取り換えられたようである。)

SOTN (State of the Nation)

June 8, 2020

この暴動ミームは「オバマ財団」によって、2020年5月16日、ジョージ・フロイドの  
明らかな絵とともに、彼の死の9日前に、ツイートされていた。



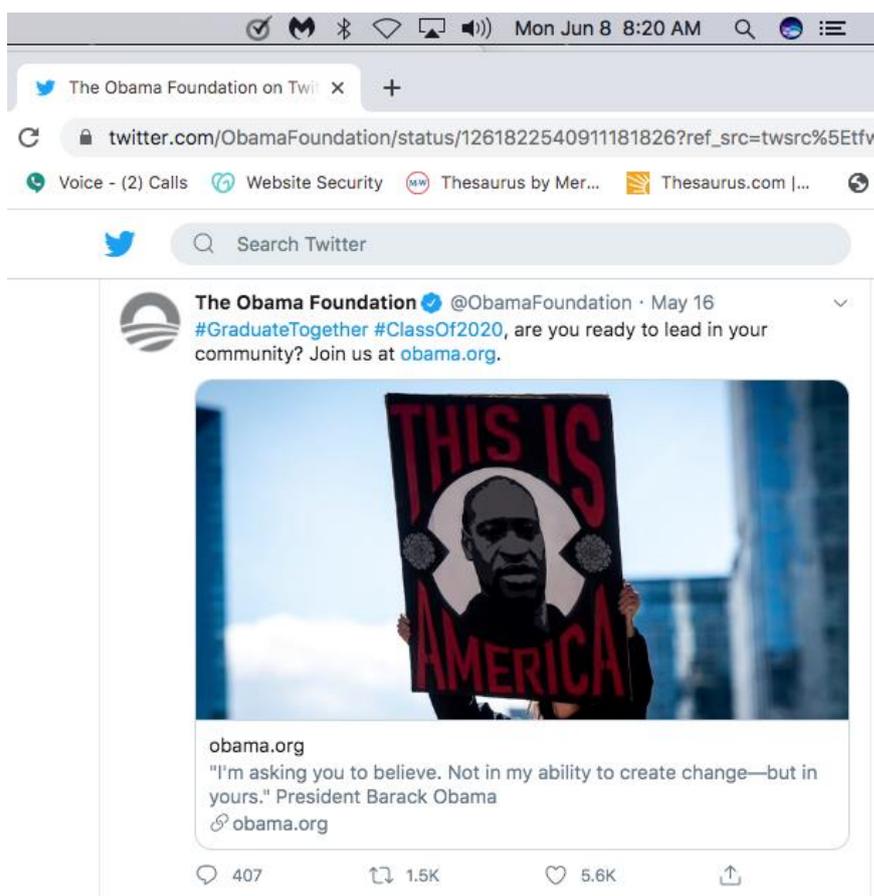
上「あなたは自分の共同体でリードする覚悟はあるか？ 我々に参加せよ obama.org」  
下「私は信じてくれと言っているのだ。変化を創り出す私の能力でなく、あなたの能力だ」  
バラク・オバマ大統領

本当かい？ あんたならそういうものを創り出せるだろうな！

オバマ財団が、5月16日土曜日——ミネアポリスにおける彼の、劇効果満点の殺人の9日前に——ジョージ・フロイドの写真を使った暴動ミームを作り出そうとは、想像できないだけでなく説明できないことである。

しかし、それよりもっとクレージーなことは、オバマ財団の犯人たちが、厚かましくも、同じツイートを彼らのツイッター・ページに用いて、今日のこの日まで、世界全体に見せようとしていることである。

その通り。6月8日、月曜日、今朝の時点で、この「**THIS IS AMERICA**」ツイートは、オバマ財団のツイート・ページに留まっている。そして、ここにはそれを証明する、8:20 AMの日付スタンプのある、きょうのスクリーンショットが出ている。



## 裏話

このグローバリストの計画については、この実話の裏話がまだ明らかにしていない部分が、山ほどある。

次のリンクは、今では完全に丸裸のこの陰謀の、反論できない証拠と、基本的なコンテクトを提供している。最初のビデオは、この出来事が絶対に真実で、ツイートのタイミングに示されているように、完全に正確であることを示している。

ジョージ・フロイド-ゲイト:なぜ、オバマ財団は、5月16日、彼の死より9日前に、ジョージ・フロイドの写真をツイートしたのか？

<http://stateofthenation.co/?p=16336>

この特別なジョージ・フロイド陰謀の筋書きは、日が経てばその概要が明らかになっていくだろう。

アップデートについては、この記事によって、他の代替メディア調査ジャーナリストや、インターネット研究者たちによって、すでに SOTN に E メールが送られつつある情報をチェックしていただきたい。

この New World Order-グローバリスト-陰謀団による、見えみえの、「人を食った」、無謀かつ鉄面皮なやり方については、説明してもらわなければならない…

もちろん、犯罪者どもが、あらゆる場所が完全にロックダウンされ、自分が抑え込んでいると思込み、どんな犯罪も完全にやりたい放題だと思っているのなら、話は別である。

## 「THIS IS AMERICA」人種暴動ミーム

下の3つのスクリーンショットは、「THIS IS AMERICA シャツ」を売っている、3つの異なった小売りサイトから見つけたものである。

小売り業者はそれぞれ、上に掲載した「オバマ財団ツイッター」上に、今でも見つけられる、全く同じ映像を使っている。

だから、どうやらこれは、ソロス一派の会社が、これらの人種戦争による暴利屋どもに、必要な資本を与え、これらの黒フードやシャツを、急いで作らせたものとも考えられる。



どこにも、バラク・フセイン・オバマほど人種いじめをする者はいない。

一つの事実として、極端に人種差別主義者のバラクとミシェル・オバマは、ジョージ・ソロスによって、そのために使われている——全面的な人種戦争のための、好都合な国家的環境をつくり出すために。ソロスはおそらく、2回の選挙とも、オバマの最大のキャンペーン出資者であった。

おそらくこれまでに、バラク・オバマほど、腐敗し、無法者で、軽率で向こう見ずなアメリカ大統領はいなかったであろう。彼が現実的に、彼のグローバリスト御主人やCIA操作官たちによって選ばれたのは、その完全な良心の欠如と、アメリカ共和国を破壊しようとする意欲のためだった。

歴史的事実の問題として、オバマは決して、大統領の資格検査にも、民主党の指名プロセスにも合格できるような、法的な出生証明書を提出したことがない。…彼が実際に、公的なものとされる文書を提出し、彼の出生場所や市民資格を裏付けようとしたときに、それは完全にフェイクの、高度に偽造された出生証明書だったことが、科学的に証明された。それは次のようなものだった。

#### **科学的証拠：オバマの出生証明コピーはフェイクで偽造されたもの**

<http://themillenniumreport.com/2016/12/scientific-evidence-obama-birth-certificate-copy-proven-fake-and-forged/>

アメリカ人民に対する言語道断の裏切り行為を、オバマ・チームはもう一度犯すだろうか？見届けるとしよう。長期の政治犯罪歴をもつ者として、オバマは、そもその初めから、人種戦争の引き金を引くべく運命づけられていた。そしてそれが実現した！

もう一度、ここに George Floyd の本物の写真を掲げておく。2020年5月16日の「オバマ財団ツイッター」のページに掲載されたものである。

